

伊万里市立山代中学校 教育相談だより

ほのぼの



2026. 9. 9

No.5 文責 浦崎 森戸

8月25日から2学期が始まり、9月に入ると各学年で修学旅行や職場体験、校外学習が行われました。期待にわくわく楽しみが表情からにじみ出ている子、緊張している子、いつもと変わらない子などなど。色々なことを経験することができているようです。3年生は修学旅行先の知覧でも平和学習に取り組みました。以前「ガラスのうさぎ」の作者 高木 敏子さんが本のあとがきに「命」について述べられていました。

『みなさんにひとつ、お願いがあります。戦争中の子どもは生きたかったのに、殺されていったんです。あるものは炎に焼かれ、あるものは食べるものがなくて餓えて死んでいったんです。この頃は苦しいから、悲しいから、辛いからといって自らの命を絶ってしまうお子さんたちがいます。どうか戦争中に亡くなった子どもたちのためにも生きていただきたいんです。お願いします。それが亡くなっていった人たちへの何よりの供養になるからです。お願いいたします。 十代といえば傷つきやすい年頃ですから、辛いこと、嫌なことがいっぱいあるかもしれません。それで思いあまって死を選んでしまうのでしょうか、でも考えてほしいのです。戦争中の子どもたちのことを……。私の妹たちは、一人は学校の先生になる夢を持っていたし、末の妹は今でいう歌手になりたいと思っていたようでした。妹たちだけではなく、生きたいと思いながら何万何千人ともいえない子どもたちが亡くなったのです。せっかくいただいた命を粗末にしてほしくないのです。

私が生きてきた昭和という時代はその3分の1が戦争の時代。生まれた時から戦争がありました。自分の楽しみや夢よりも国のことを優先するのが当たり前だと教わり、それを信じて疑いませんでした。その果ての大切な家族や友達との別れ。12歳の女の子が12歳の女の子らしく生きられなかった時代。

その後の平和がどんなに素晴らしいものか、身にしみています。その平和とは、多くの人の犠牲によって得られたものなのです。

人が死ぬということはどんなに苦しみや悲しみを生むものか。生きるということはどんなに素晴らしいことか。戦争のために生をまっとうできなかった人たちのためにも、若い命を大切にしていきたい。道はひとつではないのです。いつか道はひらけます。75年間生きてきて、私は確信を持ってそう言えます。

どうぞ、あなたの命を生き抜いてください。』

『ガラスのうさぎ』は、児童文学作家・[高木敏子](#)による[ノンフィクション](#)文学である。作者自身の経験を元に執筆され、戦争で家族を失った少女を描いている。



1 学期、平和について学習しました。命の尊さは皆しっかり感じていましたね。まだ世界では戦いによって苦しんでいる人達があります。また、私達の周りでも仲間が悲しんだり苦しんでいないか、互いに心を寄せ合っていきたいですね。

きつい時つらい時、一人で抱え込まないで
周りに相談してください

☆ 10月のスクールカウンセラー来校日
10月 7日(火)

10月の浦崎先生の来校予定日は、上記のとおりです。ご希望のある方は、事前に学級担任に連絡をされるか、教育相談担当(野口)まで連絡いただければ、時間を調整いたします。

☎ 山代中学校 28-2026

裏面には保護者の皆様へホッとメッセージです。

保護者の皆様へ

長い夏休みが終わり、子どもたちが学校に戻ってきました。教室には、久しぶりに友達と会える喜びや、生活リズムを立て直そうと頑張る姿が見られます。一方で、「宿題が終わらなかった」「友達関係が気になる」「学校生活に慣れるのが少し大変」など、不安や緊張を抱える子もいます。

☺ ご家庭でできるちょっとした工夫

・生活リズムを取り戻す

例：「今日は早く寝よう」「朝は一緒に朝ごはんを食べよう」

→ 親子でリズムを整えると安心につながります。

・話を聴いてあげる

例：「今日はどうなことが楽しかった？」「少し疲れたかな？」

→ 楽しかったことも、ちょっと嫌だったことも受け止めてもらえると、子どもは安心します。

・小さな努力を認める

例：「朝、元気に行けてえらいね」「宿題に取りかかれてよかったね」

→ 頑張りを見つけてほめると、やる気が出ます。

☺ 2学期に向けての意欲づけ

2学期は、文化発表会、講師を招いての講演会など、多くの行事があります。クラスの仲間と力を合わせる経験や、自分の得意を活かす場面がたくさんあります。また、ボランティア活動や地域の行事も多くあります。

・「できること」に目を向ける

例：「文化発表会の劇を楽しみにしているね」「音読が上手になったね」

→ 得意なことや努力したことを認めると、自信になります。

・挑戦する気持ちを応援する

例：「ちょっと苦手でも、一緒に練習してみようか」

→ 小さな挑戦を支えてあげると、新しい成長につながります。

学校では、引き続き教育相談を受け付けています。お子様の学校生活やご家庭でのことについて、気になることがあれば、どうぞお気軽にご相談ください。

